



光れ！そえひの子

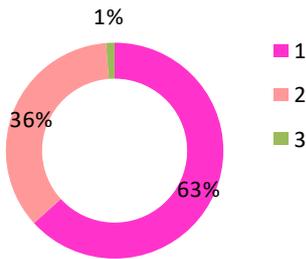


1学期末に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせします

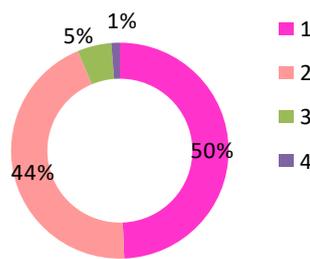
【児童評価】

1 とてもそう思う 2 そう思う 3 そう思わない 4 とてもそう思わない

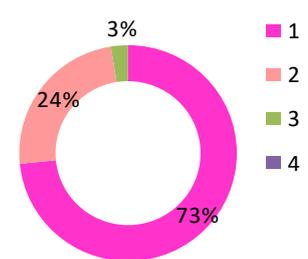
1. あいさつ・返事・「ありがとう」が言えましたか。



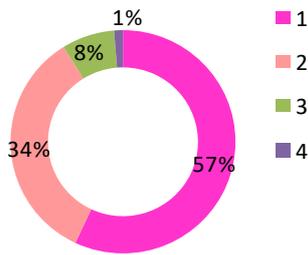
2. やる気を持って本気で授業に取り組みましたか。



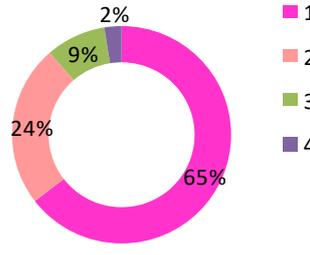
3. 授業で「わかった」「できた」ことがありましたか。



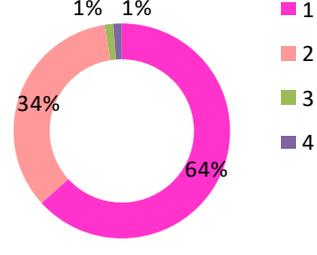
4. 授業中、自分や友達と考えたり思ったりしたことを、聞きあったり話し合ったりできましたか。



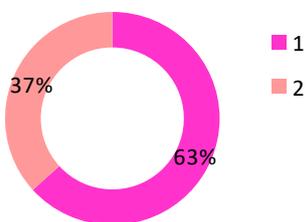
5. のびのびと歌をうたっていますか。



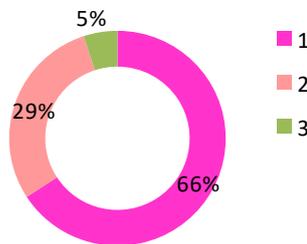
6. 他の学年の人と力を合わせて、そうじをしたり、お互いを大切にすることができましたか。



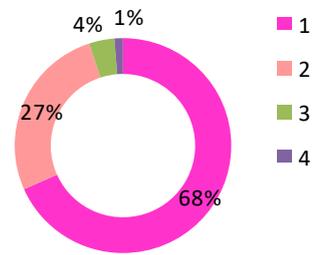
7. 友だちのよいところがわかり、みとめあい、協力しあって、がんばろうとしましたか。



8. 学校の先生たちは、話をよく聞いて、がんばっていることをほめたり、はげましたりしてくれますか。



9. 「学校は楽しい」と思いますか。



【保護者評価】

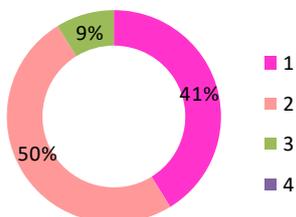
1 とてもそう思う

2 そう思う

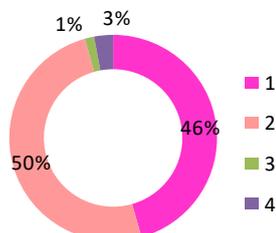
3 そう思わない

4 とてもそう思わない

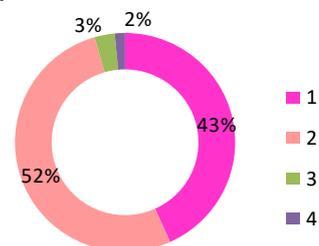
1. 学校は、返事や挨拶、感謝の言葉などを伝え合い、コミュニケーション力を高める指導を行っていると思いますか。



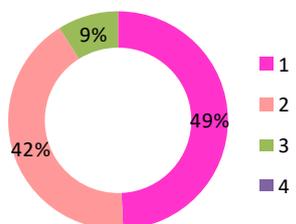
2. 学校は、子ども達が、本気になって取り組める授業や活動をつくりだすことに努めていると思いますか。



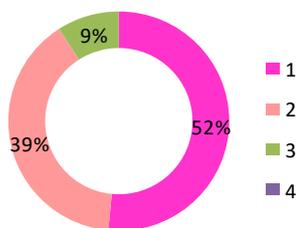
3. 学校は、「わかった・できた」という喜びが自信へとつながる授業づくりに努めていると思いますか。



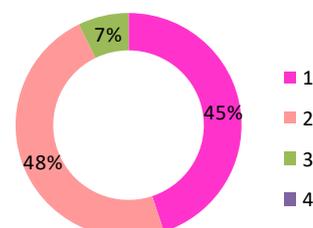
4. 学校は、友だちとの活動や話し合いなどを通して、友だちのかかわりから学ぶ授業に努めていると思いますか。



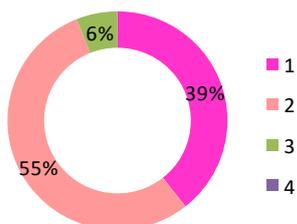
5. 学校は、子どもが自分の思いを伝えたり表現したりする力を付けることに努めていると思いますか。



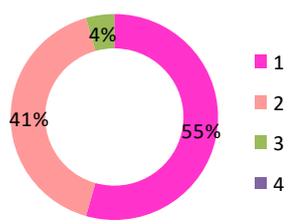
6. 学校は、友だちとともに身体を動かしたり、互いに認め合い、心を合わせる活動を通して、がんばる気持ちが育つ支援ができていますか。



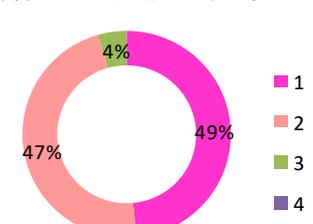
7. 学校は、家庭や地域の方の声を聞こうと、努めていると思いますか。



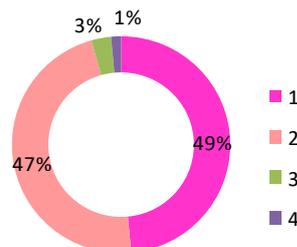
8. 学校は、コロナ禍であっても、工夫しながら教育活動の充実に努めていると思いますか。



9. 学校だよりやホームページ、学年通信などで、「子ども達の様子」や「学校の願い」の情報発信に、努めていると思いますか。



10. 学校は、子ども達にとって、「楽しい学校づくり」に努めていると思いますか。



【 考 察 】

1 児童自己評価から

- ▼すべての設問において、「とてもそう思う」「そう思う」の割合が90%以上になりました。新型コロナウイルス感染状況が高い時期が多く、例年のような活動が行えない中でしたが、活動内容を工夫し感染レベルに応じた活動を仕組んできたことが、子ども達に受け入れられよかったですと思います。一方、「そう思わない」「とても思わない」という回答が10%弱います。引き続き一人ひとりの子どもの学習と生活に注意をはらい、私たち教員は自己研鑽をつみながら、その子に応じた支援をしていく必要を感じています。
- ▼考えを交換し合ったり、のびのびと歌を歌ったりする表現活動が、十分に行えていないところもあるので、感染警戒レベルが低いときには十分に活動を保障していきたいと思います。
- ▼「他の学年の人と力を合わせて、そうじをしたりお互いを大切にしたりすることができましたか」と「友だちの良いところが分かり、認め合い、協力し合って頑張ろうとしましたか」は、肯定的な回答がどちらも98%以上の高いレベルでした。
- ▼4月よりタブレット端末が1人1台貸与され、毎日使えるようになりました。自分の考えを瞬時に皆と共有できる機能もあるため、声に出して伝えることが苦手な子の考えを共有できるようになり、認め合いや協力する姿勢につながる面があると推察します。



2 保護者評価から

- ▼児童アンケート同様、「とてもそう思う」「そう思う」との肯定的な回答が多く寄せられました。例年通りの活動が難しい状況下ではありますが、「学校は、コロナ禍であっても、工夫しながら教育活動の充実に努めていると思いますか」の問いに、96%の肯定評価をいただきました。本校の取組にご理解とご支持をいただいていることに深く感謝いたします。
- ▼友だちとの関わりの中で、思いを伝え表現する活動が十分行えていないことや、身体を動かす活動が十分行えていないことを心配する意識が、昨年に比べ1割弱増えています。新型コロナウイルスの感染状況を慎重に確認しつつ、活動に工夫を加え可能な限り実施していきたいと考えます。
- ▼多くの温かな励まし、貴重なご意見を糧に、年度後半以下のように取組んでまいります。ありがとうございました。



3 令和3年度の後半に向けて

(1) 安全・安心を基本に、協働的な学びの機会を。

新型コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ、学級のなかまや異学年・地域の方との学習機会をできるだけ多く持ち、多様な他者の考えや思いに触れながら、自分自身を成長させていく学びができるよう指導・支援して参ります。

(2) 「自分の“ことば”で伝え合える」ための指導・支援

「自分の思いや感じたことを言語化する力」に向けた授業研究に、全職員で取り組んでいます。表現したいと思える素材（地域素材）に触れる中で、自ら伝えたい思いを育て、表現していく活動につなげていきたいと考えます。そのために、1人1台のタブレット端末の一層の有効利用と、表現したいことをスキルとして身につけるSST（ソーシャルスキルトレーニング）にも力を入れていきたいと思います。

